

製品安全データシート

作成：平成 29 年 3 月 15 日

1. 製品及び会社情報

製品名	ハイドサイド
会社名	株式会社エコシステム
住所	〒923-1121 石川県能美市寺井町口 50 番 1
電話番号	0761-58-6900
FAX 番号	0761-58-6909

2. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 混合物

危険有害物質を対象

成分	含有量 (%)	化学式又は構造式	官報公示整理番号 (化審法・安衛方)	CAS No.
自然土	10~20%	なし	なし	なし
川砂（シリカ）	50~60%	SiO ₂	1-548	14808-60-7
ポルトランドセメント	25~35%	CaO,SiO ₂ ,CaSO ₄ ,2H ₂ O,A12O ₃ ,Fe ₂ O ₃	1-194,9-2408,1-193	65997-15-1
無機系顔料	1%未満	非開示	非開示	非開示

3. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的の危険性 可燃性固体 区分外

健康有害性 皮膚腐食性及び皮膚刺激性 区分1

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 区分1

発がん性 区分 1A

特定標的臓器毒性（単回ばく露） 区分1 (呼吸器系)

特定標的臓器毒性（反復ばく露） 区分2 (呼吸器系 腎臓)

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語

危険

危険有害性情報

H314 重篤な皮膚の薬傷及び目の損傷

H350 発がんのおそれ

H370 呼吸器系の障害

H372 長期にわたる、又は反復ばく露による呼吸器系、腎臓の障害

注意書き

粉塵を吸入しないこと。

	保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
対応	皮膚又は髪に付着した場合、直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ又は取り除くこと。 皮膚を流水又はシャワーで洗うこと。 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当で、診断を受けること。
破棄	内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

4. 応急措置

吸入した場合	速やかに空気の新鮮な場所に移し、水又は温水でうがいをさせ、医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	速やかに水で洗い落とす。 外観に変化が見られたり、痛みがある場合には医師の診断を受ける。
目に入った場合	直ちに大量の清浄な水で15分間洗浄した後、医師の手当を受けること。
飲み込んだ場合	大量の水を飲ませ、吐かせた後、直ちに医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

特定の消火方法	可燃性の物質は含有していない。
---------	-----------------

6. 漏洩時の措置

人体に対する注意事項	作業の際には適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等）を着用する。
環境に対する注意事項	多量に、河川、湖沼へ流入した場合には、必要に応じ、警察署・消防署・都道府県市町村の公害関連部署・河川管理局・水道局・保健所・農協・漁協等に直ちに連絡を取る。
除去方法	飛散したものは、掃除機等で吸い取るか、スコップ、帶等で集め、袋に回収する。 床面等に付着したものは水で洗浄し、濃厚な洗浄水は中和、希釈処理等により、河川に直接流れないように対策をとる。 流出した場合には、流路を毛布・土壤等を用いてせき止め、多量流出の場合はバキューム等で汲み上げ回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取り扱い	目、皮膚への接触を防止する為、保護眼鏡、保護手袋、長靴、防塵マスクなどの保護具を着用する。 取り扱い後は、顔、手、口等を水洗いする。
保管	袋の破裂等につながるような粗悪な取り扱いをしない。 乾燥した場所に保管する。 極力粉塵がたたないようとする。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策	室内で取り扱う場合は、管理濃度以下にするために充分な能力を有する換気装置を備える。多量に取り扱う場合は、集塵装置を設置する。
保護具	
手の保護具	手袋
目の保護具	保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具	保護衣

9. 物理的及び科学的性質

物理的状態

外観	土と土砂の混合物
形状	粉末

10. 安定性及び反応性

安定性

接触により危険性のある物質	水と反応して安定固定化する。
燃焼などによる有害ガスの発生	可燃性物質は含有していない。
その他の反応性情報	普通の条件での反応はない。
その他	特になし。

11. 有害性情報

局所効果

水と接触すると、水酸化カルシウムを生じ、アルカリ性を呈し、目や皮膚を刺激する。

慢性毒性・長期毒性

長期間の接触では、皮膚に炎症を起こす危険性がある。

多量に長期間吸入すると、じん肺なる恐れがある。

12. 環境影響情報

残留性／分解性

データなし

生態蓄積性

データなし

生態毒性

接触水がアルカリ性を呈するため、魚類が死亡する場合がある。

漏洩、廃棄などの際には環境に影響を与える恐れがあるので取り扱いに注意する。

特に、製品や洗浄水が地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

13. 廃棄上の注意

廃材、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物業者と委託契約をして処理をする。

容器、機械装置などを洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。

排水に関しては、水質汚濁防止法等の関連法令に適合するように充分留意する。

固化後の廃棄物などについては、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、委託すること。

14. 輸送上の注意

注意事項

取り扱い及び保管上の注意記載に従うこと。

運搬に際しては容器に漏れないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行うこと。

湿気、水濡れに注意する。

国内規制

陸上輸送

消防法、労働安全衛生法、毒劇法に該当する場合は、それぞれの該当法規に定められている運送方法に従うこと。

海上輸送

船舶安全法に定めるところに従うこと。

航空輸送

航空法に定めるところに従うこと。

15. 適用法令

労働安全衛生法

粉塵障害防止規制

じん肺法

通知対象物質

・シリカ

16. その他の情報

本 MSDS は、弊社の知見に基づき誠意を持って記載していますが、記載されている数値は保証値ではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので特殊な取扱いの場合には、用途、用法に適した安全策を実施の上ご使用下さい。

危険・有害性の評価は必ずしも充分ではないので、取り扱いには十分注意してください。また、新しい知見の発表や従来説の訂正により内容に変更が生じことがあります。